

令和4年度 第7回部長会（概要報告）

- ・日 時 令和4年10月4日（火）午前9時00分～
- ・場 所 八尾市役所大会議室
- ・出席者 市長・副市長・教育長・病院事業管理者・水道事業管理者・各部局長・理事等

【市長あいさつ】

皆さんおはようございます。令和4年度第7回部長会にあたり、挨拶させていただきます。

まず、9月19日から20日にかけて、台風14号が近畿地方に到来しました。市内17カ所の避難所の運営や、1号配備で警戒に当たっていただいた208人の職員の皆さんには、泊まりながら対応に当たっていただき、感謝申し上げます。近年自然災害が増加しておりますが、引き続き市民の安全確保にご協力をお願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症を巡っては、第7波において、これまでにない陽性者数を記録しました。一定、感染のピークは越えたものと思われませんが、次の第8波は、インフルエンザとの同時流行で大きな感染が懸念されているところです。オミクロン株対応のワクチン接種の円滑な推進をはじめ、引き続き、しっかりと対応していただくことをお願いしておきます。第7波では感染が広がり、業務の安定的な継続が課題となりました。市民の命と生活を守るための業務を優先して実施するなど、事業の優先順位を意識して、業務継続体制の確保をお願いしておきます。

また、昨今の経済情勢によって、特に電気・ガスなど生活に欠かせない分野の値上げが、市民の生活を直撃しています。本市では、6月議会で議決された、市民一人あたり5,000円の支援金の振り込みも開始しています。国からは物価高対策の地方交付金が追加措置され、9月定例会に補正予算を追加提案する予定です。新たな業務が発生する部局もあると思いますが、市民の生活支援のため、しっかりと部局間で連携して、速やかに事業を進めていただきますよう、お願いいたします。

次に、決算審査が始まります。例年、長時間にわたる審査となりますが、しっかりと準備し、自信をもって簡潔に答弁していただくことをお願いしておきます。

また、令和5年度予算編成が始まります。コロナ対策に加えて、近年の世界情勢から急激な円安や物価高といった新たな要因も加わり、財政運営はより一層、厳しさを増しております。今年度は、統一地方選挙前の骨格予算となりますが、引き続き、これまで、私からお願いしておりますゼロベースでの事業の見直しや、コロナ禍の中で得た経験を生かし、事業の中止や縮小等、大胆な見直しを通じて、効果的・効率的な予算編成をお願いしておきます。

季節の変わり目となっております。部局長の皆さんにおかれましても、体調に十分留意され、業務にあたっていただきますようお願いをして、開会のあいさつといたします。

案件

1 「八尾市市民参画と協働のまちづくり基本条例」の評価及び見直しに関する提言について 政策企画部長

八尾市市民参画と協働のまちづくり基本条例については、条例第16条において、社会情勢や取り組み状況に応じ、5年を越えない期間ごとに、この条例が現在の本市にふさわしいものとなっているかどうかを検討することとしております。昨年度末より条例第16条に基づき、「八尾市市民参画と協働のまちづくり基本条例評価委員会」を設置し、平成28年度から令和2年度までの5年

間の取り組み状況について評価見直しを行い、先日、令和4年9月 28 日に市長への提言を手交いただきました。

この5年間の本市の多様な取り組みにおいて「市民参画」と「協働」が、確かな歩みとして進められているとの評価をいただくとともに、今後条例を活かした取り組みをさらに進めるためにも、現行の条例を一部見直しする必要があるとの提言がまとめられました。

後日、提言内容に基づき条例改正案を作成し、別途庁内意見を聴取させていただく機会を設ける予定としておりますので、各部局におかれましては、提言内容をご確認くださいようお願いいたします。

今後のスケジュールにつきましては、条例改正案の庁内検討を行い、パブリックコメントを経て、3月議会へ提案する予定としております。

特に意見なし

2 令和5年度組織機構の見直しについて

政策企画部長

現行の組織機構につきましては、第6次総合計画を着実に推進し、まちの成長につなげるとともに、限られた人員と財源で持続可能な行財政運営の実現を図るため、より機能的かつ効率的な組織機構をめざし、体制を整備したところです。

令和5年度における組織機構の見直しにつきましては、今年度と同様、原則として、引き続いて現行の組織体制による運営の安定化と定着を図ることとしながらも、目まぐるしく変化する社会経済情勢や国・府等の施策の動向、その他の要因により、政策課題が顕在化したものであって、早急に課題解決を図る必要があるもの、又はさらなる機能的・効率的な組織体制の構築に資するもの等に限定し実施するものとします。

つきましては、担当より照会させていただき、該当のある部局について、ヒアリングをさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

【こども若者部長】令和5年度組織機構改革の実施時期はいつ頃でしょうか。

【政策企画部長】令和5年度は骨格予算、統一地方選があるため、一部PT等での臨時的対応はあるものの、6月から7月ぐらゐの実施を目指している。

【こども若者部長】児童福祉法改正関連で、令和6年度の組織機構改革の予定があるため、令和5～6年での変更を検討しています。

3 大阪・関西万博関連イベントの参加・企画状況および大阪・関西万博の参画方法に関する情報共有について

政策企画部長

まずは、大阪・関西万博関連イベントへの参加・企画状況について2点ご報告させていただきます。

1点目は、来る11月5日と6日の2日間に渡り、東大阪市の花園中央公園にて「HANAZONO EXPO」が開催されます。東大阪市が大阪・関西万博の「TEAM EXPO 2025」プログラムの「共創チャレンジ」に登録したイベントで、ポストコロナ社会における新しい生活様式や最新技術などを、見て触れて体験できる内容となっております。開催にあたって、府内の自治体へ参加を呼び掛けており、本市も共創パートナーとして、イベントの趣旨に賛同するため、大阪・関西万博の目標達成と、八尾の魅力発信を目的に参加いたします。

本市の出展内容ですが、「八尾市の健康まちづくり」をテーマに、健康まちづくり科学センター監修による、10歳若返りに役立つ生活習慣について、市内企業と連携してPRするために、現在準備を進めております。

なお、八尾市観光協会でも、本市の魅力紹介や物品販売のブースを出展します。その他詳細な

どにつきましては、イベント HP をご覧ください。

2点目は、来年2月3日に大阪・関西万博の 800 日前を迎えることから、八尾にちなんで2月及び3月の2カ月間を「八尾市万博開催 800 日前月間」とし、本市における大阪・関西万博の機運を盛り上げて参りたいと考えております。この期間において、「健康」「SDGs」「市の魅力発信・誘客」など、万博のテーマに関するイベントや取り組みをされる場合には、「800 日前月間の取り組み」として、まとめて情報発信をしたり、のぼりの掲出などをしていきたいと思っておりますので、各部局における取り組みがあれば、情報提供をお願いします。

なお、やおプロモーション・万博推進プロジェクトチームでは、2月5日に子どもを主役としたイベントの実施を検討しておりますので、具体的なコンテンツなどが決まり次第お知らせさせていただきます。

続いて、大阪・関西万博の参画方法に関する情報共有についてご報告させていただきます。

大阪・関西万博の開催に向けて、主催者である国際博覧会協会を中心に、様々な情報が発信されはじめています。今後、各部局が情報を効果的に活用いただき、本市の万博機運醸成や参画の可能性を拓げるために、万博参画に関連した情報を集約する一覧表を作成し、共有する運用を開始します。

内容については、これから関連する情報を随時追加していきますので、下記の掲載場所からご参照ください。なお、個別に必要と思われる情報については、これまでどおり、やおプロモーション・万博推進プロジェクトチームから各部局へご提供させていただく予定です。

最後に、80アクションに関連した内容としまして、前回ご報告したワーキング会議で作成した「市民とともに SDGs 達成に貢献するための目標案」について、その後 SDGs 専門家の意見も伺い完成に向けた作業を進めております。

この後、庁内職員宛てに詳しい内容と意見募集についてのメールを別途お送りいたします。

特に意見なし

4 令和5年度当初予算方針説明会、および予算編成に向けた協力依頼について 財政部長

令和5年度の当初予算編成方針を含めた第二次予算要求にあたっては、例年 10 月上旬に庁内説明会を実施しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の防止の観点から、昨年度に引き続き、共通ライブラリへ資料掲載する形式といたします。各種資料は 10 月7日頃に掲載を予定しており、第二次予算要求については、同月 11 日から 24 日までとしておりますので、部内各所属へ遺漏のないよう周知のほど、よろしく願いいたします。

令和3年度決算においては、財政調整基金を取り崩すことなく実質収支で5億5千万円の黒字となり、経常収支比率は 96.6 となっております。歳入面においては、市税収入が新型コロナウイルス感染症の影響等による個人市民税の減などにより2年連続で減少。

歳出面においては、保育・子育て環境の向上などに伴う社会保障関係経費の増加が続いていることに加えて、公債費が高い水準で推移しており、財政構造の硬直化が依然続いています。

新年度予算編成における影響要因については、引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応が必要なほか、急激な円安やウクライナ情勢に伴う原油価格の上昇・物価高騰等により、新たに約2億円の経常経費の増加が見込まれ、一般財源ベースで厳しい財政スキームになるものと予測しています。

こうした状況を踏まえ、予算要求にあたっては、コロナ禍を起因とした環境変容を踏まえ、事業手法の簡素化や効率化による見直し、業務量の適正化による人件費の抑制に徹底して取り組んでいただきますよう、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

その他として、統一地方選挙が来春に執行されるため、令和5年度当初予算は骨格予算となりますが、予算編成作業においては、肉付け予定の予算も含めて全体を編成したうえで、当初予算と令和5年6月補正予算に振り分けることといたします。

特に意見なし

5 高齢者等のインフルエンザ自己負担無償化について

保健所長

まず、第7波において、全庁的なご支援、ご協力にこの場をお借りして、お礼申し上げます。おかげさまで、感染状況も収束に向けて動き出しているといったところです。

一方、季節性のインフルエンザについては、2年間流行がなかったため、免疫が落ちていると言われており、南半球(オーストラリア)で大流行の傾向が見受けられます。

本市の高齢者等インフルエンザ定期予防接種につきましては、例年10月15日より委託医療機関に実施いただいております。関係各課には免除申請受付や周知啓発等について協力いただいております。

今年度については9月上旬に大阪府より自己負担無償化の方針の発表があり、新型コロナウイルス感染症の流行が懸念される中、インフルエンザの併発による高齢者の重症化を防ぐとともに医療提供体制の逼迫を防ぐため、自己負担の無償化にかかる補正予算について9月30日に議決をいただきました。

本市も例年に比べ接種開始日を早め10月1日から開始するとともに、被接種者から窓口にてお支払いいただいております自己負担金(1,200円)を、今年度に限り、無償とします。

市民への周知については、市政だより10月号(9月20日発行)では、今年度に限り変更の可能性がある旨を周知し、最新の情報については、10月以降に、市ホームページを確認いただくようご案内しております。また、市政だより11月号(10月20日発行)に、改めて10月1日以降の自己負担無償化についてご案内する予定です。

その他、出張所・コミュニティセンター、医療機関等でのポスター掲示、各種団体の協力によるチラシ回覧等により周知啓発を実施してまいりますので、各部局におかれましてもご協力をお願いいたします。

なお新型コロナウイルスワクチンとの同時接種は可能となっております。接種期間は、令和4年10月1日から令和5年1月31日まで、対象者は、接種時点で本市に住民登録のある、65歳以上の人もしくは60歳～64歳の人で身体障がい者手帳(心臓・腎臓・呼吸器・免疫不全)1級相当を有する人、接種回数は期間内1回、接種費用は無料となっております。

特に意見なし

6 オミクロン株に対応した新型コロナワクチン接種について

保健所長

新型コロナワクチンの接種については、これまで4回目接種まで取り組んできましたが、9月20日に関係法令が改正され、事業期間が9月30日から令和5年3月31日へ延長され、加えて、オミクロン株に対応したワクチンへの切り替え、接種対象者の拡大などの変更があり、ワクチン接種事業を継続することとなりました。

接種体制は、これまでと同様、個別医療機関での接種と、集団接種会場での接種を併せた体制

とし、訪接種や、移動が困難な方へのタクシーチケットの配布も実施することとしております。引き続き、市民からの問い合わせ等について、コールセンター(0570-008-633 開設時間9時から5時)や本庁6階の新型コロナ申請支援窓口への案内等のご協力をお願いします。

また、高齢者等のインフルエンザワクチン接種の無償化に伴い、両ワクチンの接種希望者の増加が見込まれることから、引き続き、八尾市医師会と連携して取り組みを進めています。

なお、新型コロナワクチン、インフルエンザワクチンの同時接種が可能となっています。接種対象者は、2回目まで接種を完了した12歳以上の市民(接種間隔は、直前の接種日から少なくとも5か月経過以降に、1回のみ接種)となります。

ワクチンの切り替え時期は、9月26日より市内医療機関へ配送を開始し、集団接種は9月29日から切り替えとなります。

接種場所は、個別医療機関(市内132医療機関)にて接種できますとともに、集団接種として、市内2箇所(総合体育館「ウイング」サブアリーナ、藤和ライブタウン(旧サンプラザ八尾南駅前店跡)※令和4年10月中旬より開始予定)を設置します。

接種券の発送は、オミクロン株対応ワクチンの接種対象者(接種回数は3・4・5回目にあたる)へは、9月26日より接種券を発送し、以降、1か月ごとに発送する予定です。これまで発送した3回目・4回目接種の接種券は、そのまま使用することができます。

また、予約方法およびコールセンターの運営はこれまでと同様となります。

特に意見なし

7 新型コロナウイルス感染症流行下における健康状態に関する調査研究の実施について

北村理事

新型コロナウイルス感染症の流行は日常生活への影響に加えて、医療機関の受診や健診控え、生活習慣の変化等により人々の健康にも長期的に影響を与えることが指摘されています。特に新型コロナウイルス感染者は、罹患症状後の遷延や合併症併発など(以下、「コロナ後遺症」という。)、心身の健康や社会生活に長期的に影響を及ぼす可能性が報告されています。

その中で、国立研究開発法人 国立国際医療研究センターが厚生労働省の厚生労働行政推進調査事業費補助金において実施しております「新型コロナウイルス感染症による他疾患を含めた医療・医学に与えた影響の解明に向けた研究」の内、「コロナ後遺症」などによる、心身の健康と社会生活の実態把握及びリスク要因の調査研究を、健康まちづくり科学センターが共同で行うこととなりました。その共同調査研究を行うにあたり、市民協力の下、新型コロナウイルス感染症罹患後の症状や心身の健康状態、社会状況についての実態調査を以下のとおり実施することとなりました。

調査実施にあたり、コロナ後遺症で不安な方への受診協力を医師会、市立病院にお願いしております。また、本調査は、新型コロナウイルス罹患後症状の調査としては、国内における大規模な調査となることから、市民からの問合せ等がございましたら、ご協力くださいますようお願いいたします。本日午後15時にプレス発表と今後市政だより、ホームページ等で周知を図ってまいります。

対象者は、八尾市在住の5歳～79歳の方 約35,000人うち、令和3年3月～令和4年4月に新型コロナウイルスに感染した方から約17,500人、抽出時まで新型コロナウイルスに感染していない方から約17,500人感染者の性別、年齢、地域でマッチングした方、合計35,000人となります。

実施期間は、11月1日～11月30日、実施方法は、Webによる調査を、5歳～59歳の方に実施し、質問紙による調査を60歳～79歳の方に実施します。

回答者には、国から500円相当の謝礼を送付。調査の問合せ先は国立研究開発法人 国立国際医療研究センター、電話番号0120-332-073(11月1日～11月30日)03-6228-0569(12月1日以降)もしくは、八尾市保健所(コールセンター)06-7177-9541(11月1日～11月30日)となります。

【植島副市長】 国の大規模調査を本市が協力して実施するというのですが、近い将来、調査結果に基づいた報告書や対応方策などがまとめられると思います。本市としては、それをどのように市民の健康に生かしていくかが重要であると考えますので、その際は市民に身近な各部局も周知等についてご協力いただきますようお願いいたします。

8 こども総合支援センターの開設について

こども若者部長

10月24日に、八尾市生涯学習センター 学習プラザの1階および4階の一部に、こども総合支援センター「ほっぷ」を開設いたします。開設にあたり、ご尽力賜りました関係部局の皆様には厚く御礼申し上げます。

こども総合支援センター「ほっぷ」の概要でございますが、『一人ひとりに光が当たる切れ目のない支援の実現』を基本理念としております。子育てへの不安や児童虐待、いじめ、子どもの発達など、さまざまな悩みや課題を抱えている子どもと保護者に対して、誰一人とり残さないように、子どもの最善の利益を考え、子どもの育ちに応じた切れ目のない支援を推進してまいります。

また、子ども・子育ての総合的な支援拠点として、妊娠期からおおむね18歳までの子どもや子育て世帯が気軽に集い、交流や相談ができる施設とします。センターの開館は、月曜から土曜日の、9:00から17:15です。開館時間外となります、月曜から土曜日の夜間と、日曜・祝日・年末年始の電話相談を、委託により実施いたします。

なお、10月24日から、こども総合支援課及びいじめから子どもを守る課が、執務室を移転いたします。10月30日の日曜日に、見学会を開催し、当日は、センター内を自由にご覧いただく予定としております。

また、こども総合支援センターの詳細につきましては、リーフレットをご参照頂きますようお願いいたします。

【植島副市長】 市長就任以来、相談窓口の連携や重層的支援など、相談・支援機能をつなげていくという取り組みを進めてまいりました。子どもの分野においても相談窓口を連携させるという観点で、こども総合支援センターを設置させていただきました。各部局においても、こども総合支援センターとの連携ができるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

9 デジタル地域通貨「まちのコイン」の活動状況及び市内活用の検討について

魅力創造部長

本市は、令和4年6月8日に、株式会社カヤック、大阪信用金庫との3者で、産業振興連携協定を締結し、QRコード決済技術を使ったシステムを活用した現金と連動をさせないデジタル地域通貨「まちのコイン」をつかって、商業者、ものづくり企業、地域住民や関係人口をつなぎ、新たな価値づくりと、その活動の見える化を実証実験として進めております。

9月26日現在で、市内商業者、ものづくり企業等、62カ所のスポット登録をしていただき、様々な体験をつくり、1,240人のユーザーがそれらの体験を通じて、楽しみながら地域の活性化を担っていただいております。

昨年度に市内の商店会で経済特区をとられた「オタイヤマーケット」や、やお河内音頭まつり、八尾市内で開催されたJC大阪のブロック大会でも、まちのコインを活用したスタンプラリーをするなど

活用していただいております。

各イベントが「まちのコイン」を活用することで、ユーザーの囲い込みができ、エリア、時間を超えたつながりが持てるようになります。

まちのコインは、現在、全国で 20 地域が導入しており、他市では、「行政の仕事をめざす学生に、なかなか聞きづらいことを本音で答えます」や、「親子未就園児教室に参加してくれたらポイント差し上げます」など、行政の啓発事業を促進する試みとして「まちのコイン」が活用されております。

大松市長にも、まちのコインを活用していただいたところ、魅力創造部だけではなく、庁内でもっと活用できるのではないかとのお考えをいただき、部長会を通じて現状報告をさせていただきました。

既にユーザー登録をしていただいている方もいらっしゃるかと思いますが、実際に登録・体験していただき、地域の店や工場、八尾商工会議所会館内、プリズムホール情報交流スペース、みせるばやお等のイベントにご参加いただければと考えております。登録していただいた状況、活用状況も全て可視化されるシステムですので、必要とあれば、報告させていただきます。

【大松市長】まちのコインについては、市として協定に基づき取り組んでいるもので、皆さんも積極的にご利用いただくようお願いします。まちのコインだけでなく、公民連携の手法を用いて、民間活力を利用しながら、市の施策、例えば健康づくりや万博の機運醸成にも資するものと考えておりますので、各部局においてもそのような意識を持つようお願いいたします。市民の皆さんに活用を勧めるには、自らが使ってみるということも重要ですので、ぜひとも体験していただきますようお願いいたします。

その他、田口危機管理監から、北朝鮮のミサイル発射の状況報告、築山総務部長から人事評価の期中面談の実施予定の報告とマネジメント・サポート制度の実施報告、鶴田環境部長から、環境保全課の執務室のリサイクルセンター学習プラザ「めぐる」への移転について報告があった。

次に、植島副市長から以下の発言があった。

期中面談に関して、市長就任以来、部局長をはじめとするマネジメントスキルの向上や風通しの良い職場づくりなどのハラスメントのない組織づくりについて、研修等を通じて取り組みを進めてまいりました。職員が仕事に希望とやりがいを持てる組織づくりを進めるということで取り組んできましたので、面談の実施にあたり、これらのことを今一度考える機会としていただきますよう、よろしく願いいたします。

また、超過勤務の抑制について、これまで 10%縮減の計画を達成していただいているところですが、今後のさらなる意識改革として、人件費の予算の範囲内での執行を常に意識することをお願いいたします。そのために、各所属には人件費の予算割り当て額をお知らせいたしますので、その範囲内で超勤の命令を出すような仕組みづくりをお願いするとともに、来年度の当初予算編成にあたっては、各所属の人件費等を把握した上で、臨んでいただきたいと思います。また、定数管理目標についても、人件費の総額が定められているので、意識しながら業務にあたってくださいようお願いいたします。

最後に大松市長から以下の発言があった。

風通しの良い組織づくりについては、これまでもお願いしてきましたが、ハラスメントだけではなく、職員が市民のための仕事をしているかどうかを絶えず意識して行動を改め、聞きっぱなしにならないように、しっかりと受け止めるようお願いします。また、職員に対して指導助言が必要な場合もあるが、なぜ指導・助言するのかということも含めて、しっかりと理解してもらうようお願いします。